

2008年3月期 決算説明会

2008年5月8日(木)

ALPS電気株式会社

美しい電子部品を究めます

ALPS[®]

COPYRIGHT(C) 2008 ALPS ELECTRIC CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

ALPS

目次

1. 2008年3月期 実績報告
 - 1-1. 連結業績の状況
 - 1-2. 電子部品セグメントの状況
2. 2009年3月期の見通し
 - 2-1. 連結業績の状況
 - 2-2. 電子部品セグメントの状況
3. 今後の見通し(電子部品セグメント)

目次

1. 2008年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品セグメントの状況

2. 2009年3月期の見通し

2-1. 連結業績の状況

2-2. 電子部品セグメントの状況

3. 今後の見通し(電子部品セグメント)

3

2008年3月期 実績報告 連結業績の状況

■ 業績サマリー

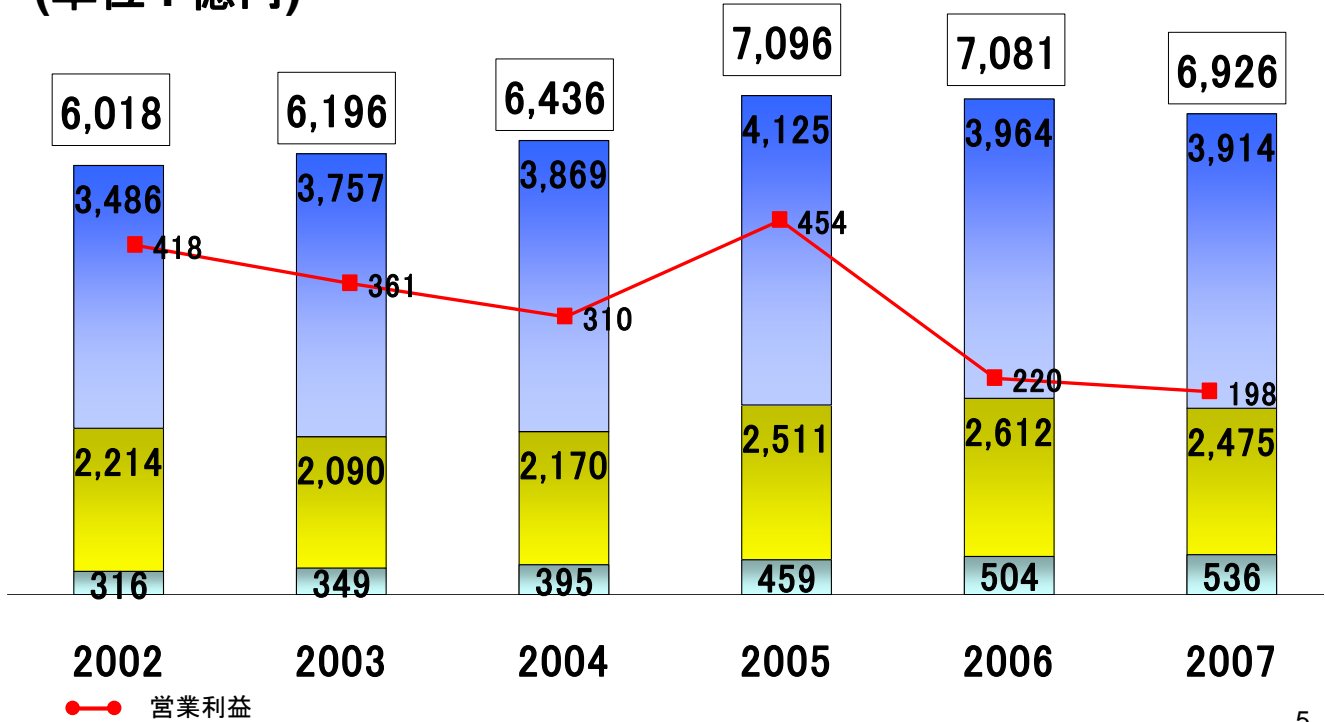
(単位: 億円)

	2006		2007					
	実績	売上比	実績	売上比	前期比 増減率	'08/4/3 公表値	売上比	公表値比 増減率
売上高	7,081		6,926		- 2.2%	6,880		+ 0.7%
営業利益	220	3.1%	198	2.9%	- 10.0%	185	2.7%	+ 7.0%
経常利益	246	3.5%	131	1.9%	- 46.7%	120	1.7%	+ 9.2%
当期純利益	49	0.7%	44	0.6%	- 10.2%	30	0.4%	+ 46.7%
フリーキャッシュフロー	57	-	38	-	- 33.3%	-	-	-
期中平均 円/USD	117.02		114.28			114.28		
為替レート 円/EUR	150.09		161.53			161.53		

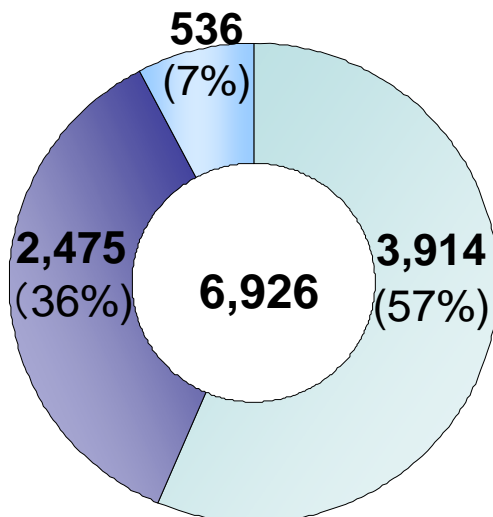
※フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー－投資活動によるキャッシュフロー

4

■ 売上高 / 営業利益 推移 (単位：億円)



■ 事業別売上高の内訳 (単位：億円)



電子部品事業

ALPS
ALPS ELECTRIC CO., LTD.

売上高 3,914億円(前期比 1.3%減)
営業利益 63億円(同 20.0%増)

音響製品事業

ALPINE
ALPINE ELECTRONICS, INC.

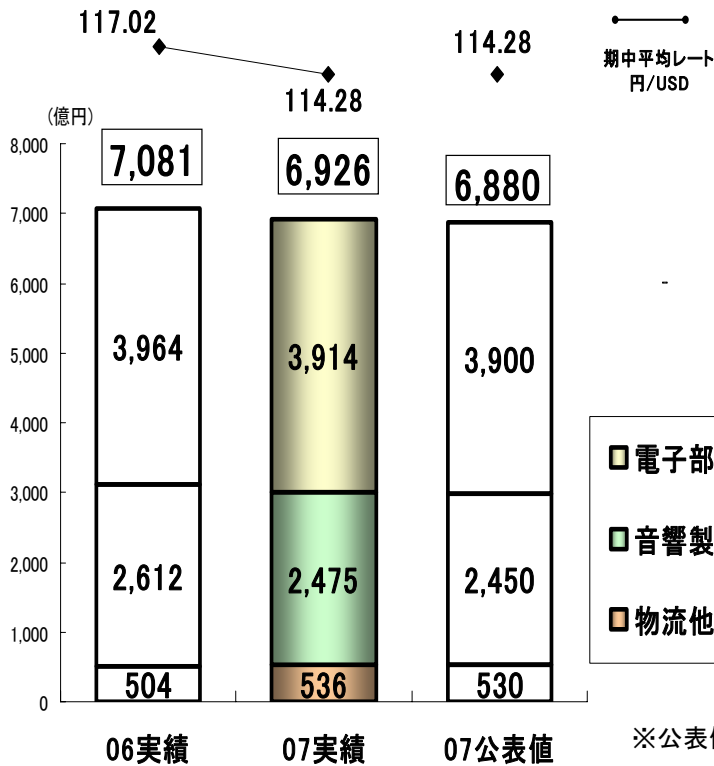
売上高 2,475億円(前期比 5.3%減)
営業利益 70億円(同 30.6%減)

物流事業、他

ALPS ALPS LOGISTICS CO., LTD.

売上高 536億円(前期比 6.5%増)
営業利益 64億円(同 0.5%増)

■ 連結売上高の増減



前期比 Δ 154億円

◇為替の影響 +43億円

- ・EUR高円安 +84億円
- ・USD安円高 Δ 45億円

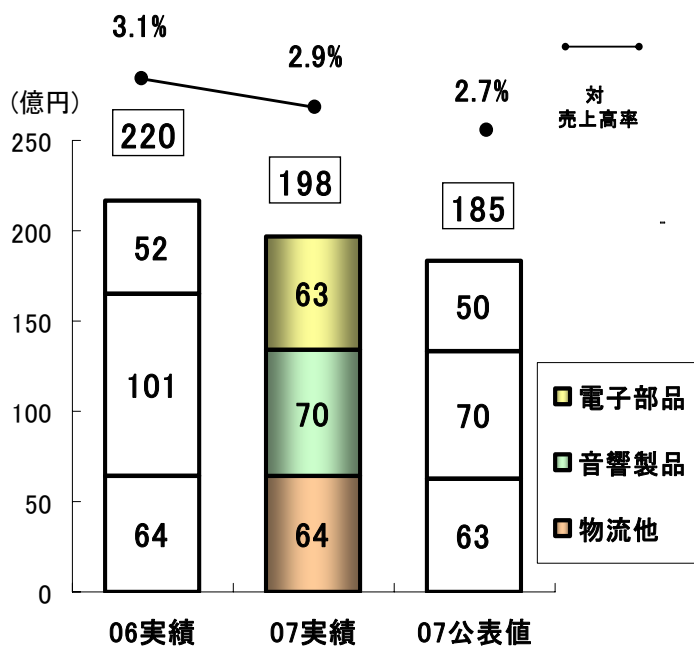
◇為替影響除く Δ 198億円

- ・電子部品の減少 Δ 68億円
- ・音響製品の減少 Δ 163億円
- ・物流・その他の増加 +33億円

※公表値はセグメント間消去調整後で表示

7

■ 連結営業利益の増減



前期比 Δ 22億円

◇為替の影響 +17億円

- ・EUR高円安 +26億円
- ・USD安円高 Δ 8億円

◇為替影響除く Δ 39億円

- ・電子部品事業における増 +5億円
- ・音響製品事業における減 (主に売上の減などによる)

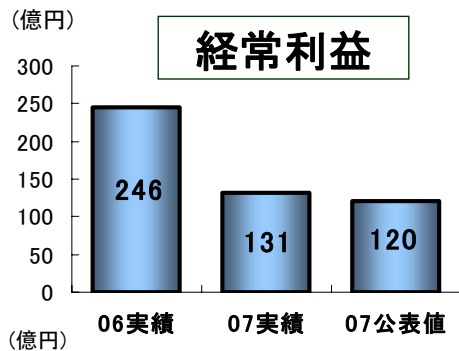
Δ 41億円

(注)内訳は連結消去前で表示

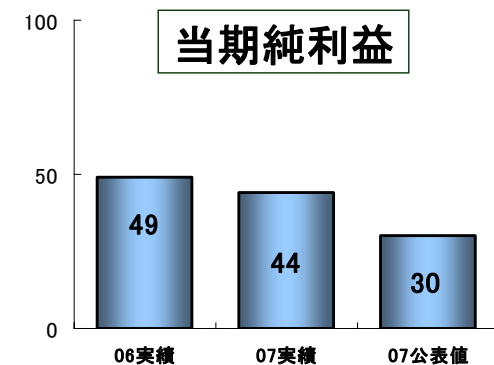
8

2008年3月期 実績報告 連結業績の状況

■ 連結経常利益、連結当期純利益の増減

(経常利益) 前期比 Δ 115億円

- ・営業利益の減少 Δ 22億円
- ・為替差損 Δ 78億円

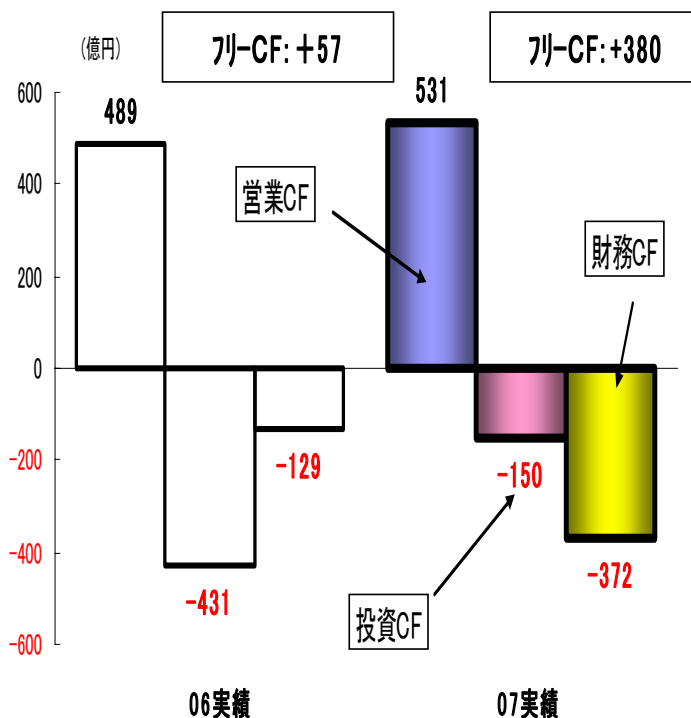
(当期純利益) 前期比 Δ 5億円

- ・経常利益の減少 Δ 115億円
- ・特別利益の増加 +262億円
- ・特別損失の増加 Δ 172億円
(固定資産減損損失の増加 Δ 174億円)
- ・その他 + 20億円

9

2008年3月期 実績報告 連結業績の状況

■ 連結キャッシュ・フロー



◇営業CF増減 + 41億円

- ・売上債権の減少 +211億円
- ・減損損失 +174億円
- ・たな卸資産の減少 Δ 72億円
- ・特許権、ノウハウ譲渡益 Δ 270億円

◇投資CF増減 +280億円

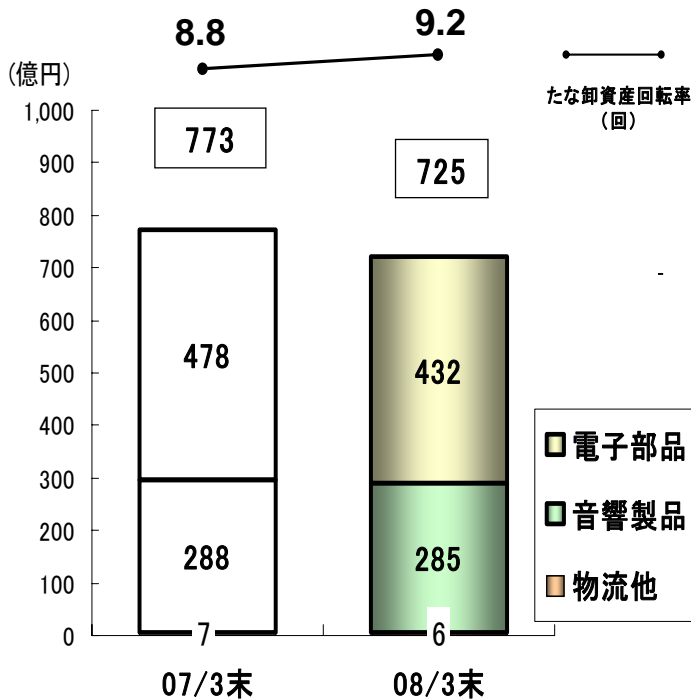
- ・特許権、ノウハウ譲渡益 +270億円

◇財務CF増減 Δ 242億円

- ・短期借入金の返済 Δ 230億円
- ・長期借入の減少 Δ 206億円
- ・長期借入金の返済減 + 65億円
- ・その他 +129億円

10

■ 連結たな卸資産の増減



前期比 Δ 48億円

◇電子部品 Δ 46億円

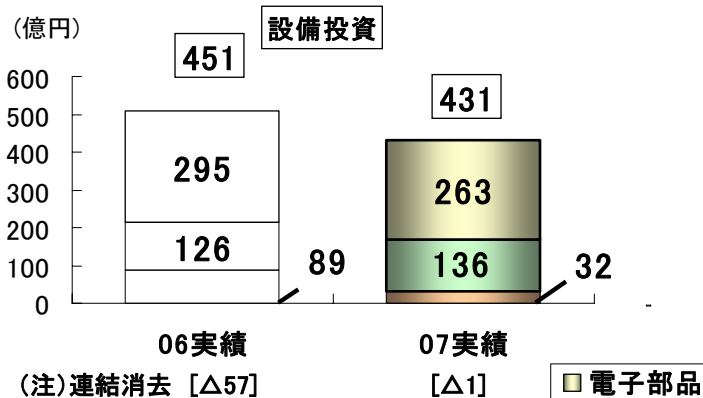
◇音響製品 Δ 3億円

※たな卸資産回転率 07/3 08/3

◇電子部品 7.9 → 8.8

◇音響製品 9.2 → 8.8

■ 連結の設備投資及び減価償却費の増減

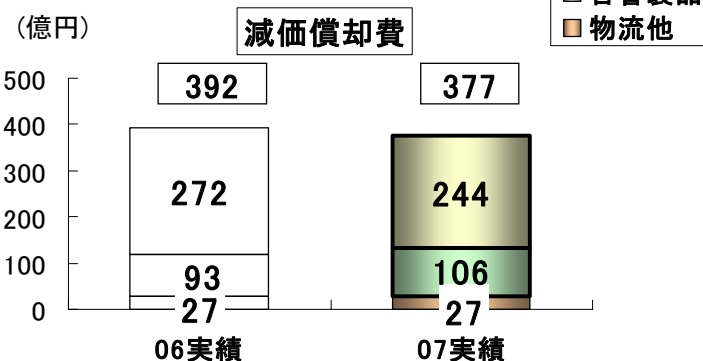


前期比 Δ 20億円

◇電子部品 Δ 32億円

◇音響製品 + 10億円

◇物流その他 Δ 57億円

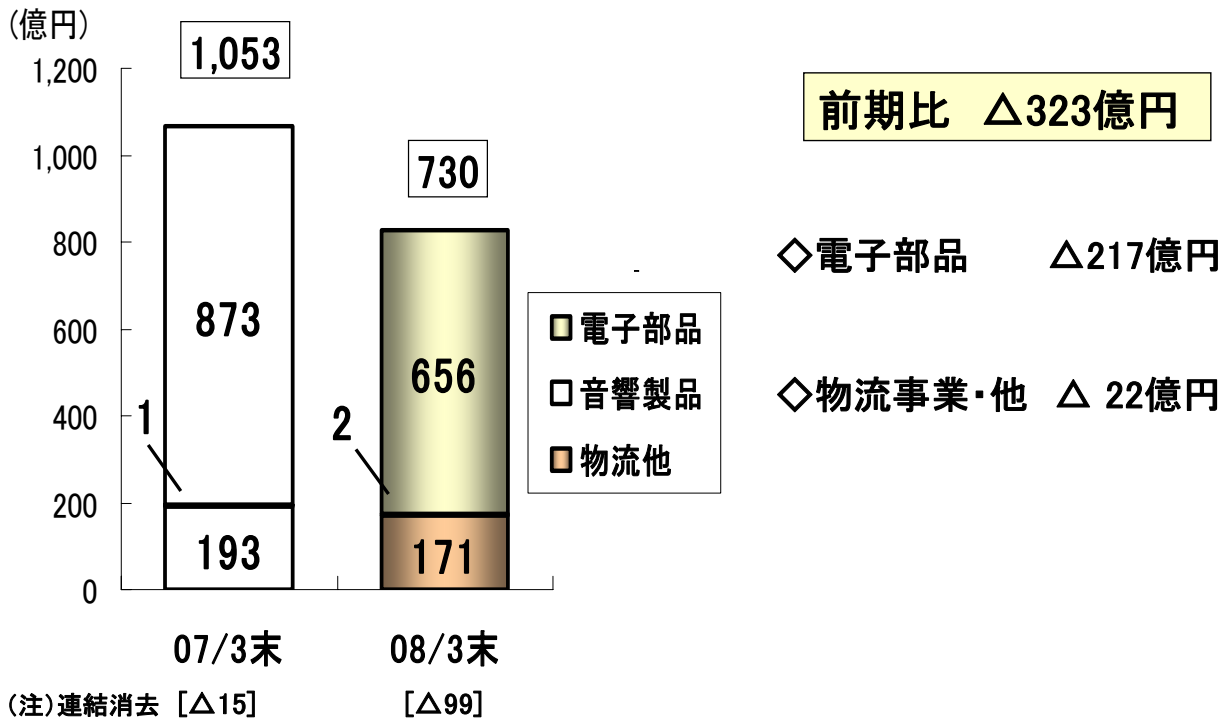


前期比 Δ 15億円

◇電子部品 Δ 28億円

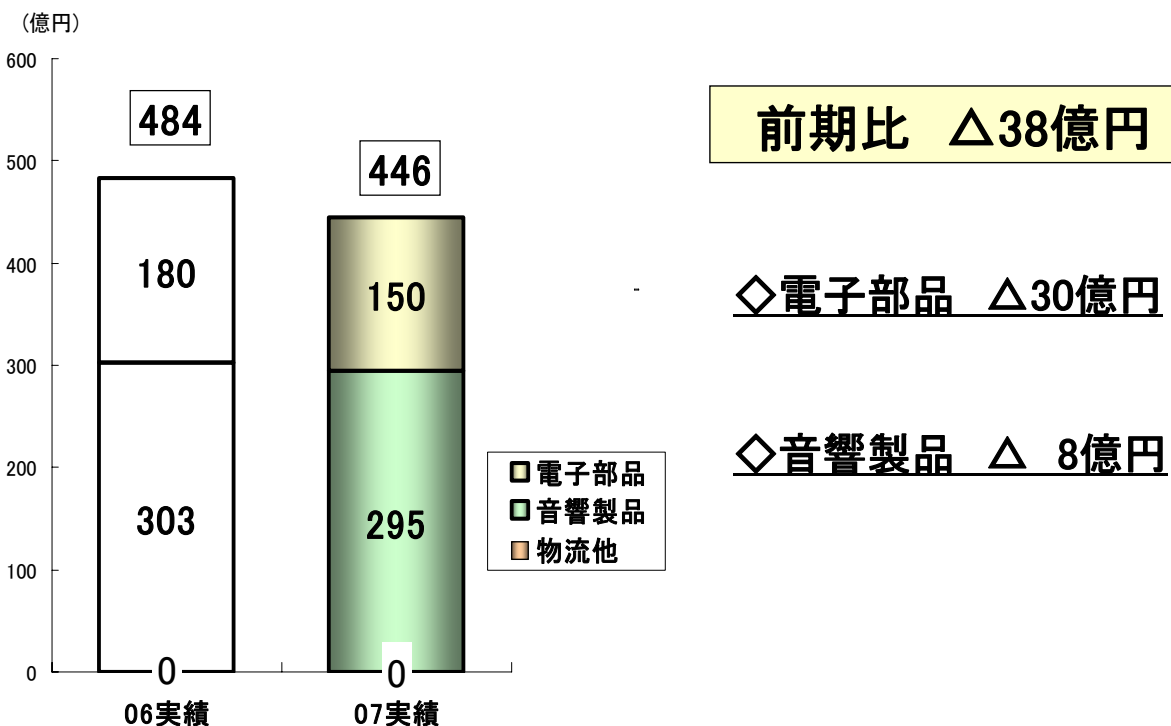
◇音響製品 +13億円

■ 連結有利子負債残高の増減



13

■ 連結研究開発費の増減



14

目次

1. 2008年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品セグメントの状況

2. 2009年3月期の見通し

2-1. 連結業績の状況

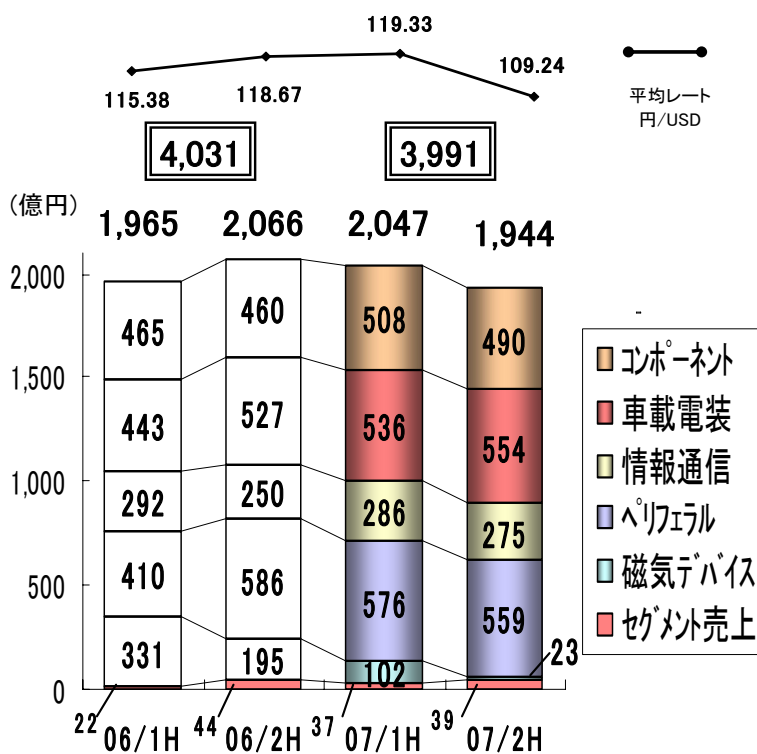
2-2. 電子部品セグメントの状況

3. 今後の見通し(電子部品セグメント)

15

2008年3月期 実績報告 電子部品セグメントの状況

■ 売上高の増減

前期比 $\Delta 40$ 億円

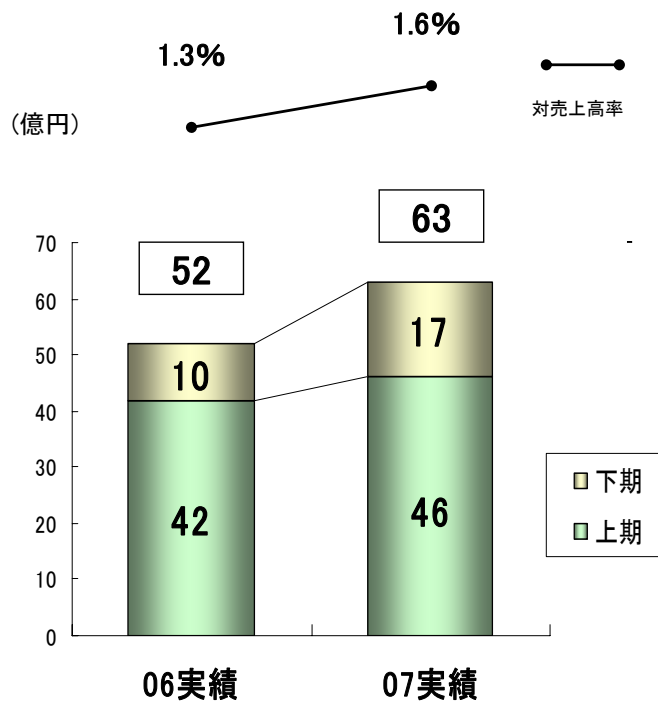
主な増減の要因

- ・コンポーネント事業
携帯用スイッチ、コネクタや車載用センサの増加等 +72億円
- ・車載電装事業
インパネ・ドアモジュールの増加等 +119億円
- ・情報通信事業
車載用Bluetooth™モジュールの増加等 +18億円
- ・周辺事業
ゲーム用コントローラモジュールの増加等 +139億円
- ・磁気デバイス事業
HDD用ヘッドの減少等 $\Delta 400$ 億円

(注)セグメント間売上高消去前で表示

16

■ 営業利益の増減



前期比 +11億円

主な増減の要因

◇為替の影響 +6億円

・EUR高円安 +11億円

・USD安円高 △6億円

◇為替影響除く +5億円

・HDD用ヘッドなどの減損等による

償却費負担の減 +28億円

・HDD用ヘッドの設備売却に伴う

一時費用の増等 △23億円

17

■ (ご参考) 為替変動の影響

売上高・営業利益への1円当り影響額

< 連結ベース >

・ 売上高 対USD 1.9億円/月

・ 営業利益 対USD 0.4億円/月

< 電子部品事業 >

・ 売上高 対USD 1.2億円/月

・ 営業利益 対USD 0.3億円/月

(注) 2008年3月期 実績をもとに算出。

18

目次

1. 2008年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品セグメントの状況

2. 2009年3月期の見通し

2-1. 連結業績の状況

2-2. 電子部品セグメントの状況

3. 今後の見通し(電子部品セグメント)

19

2009年3月期の見通し

■ 連結業績の状況

【2008年 5月 8日現在】

(単位:億円)

	2007		2008				
	実績	売上比	公表値	売上比	前期比 増減率	内 2Q	売上比
売上高	6,926		7,000		+ 1.1%	3,300	
営業利益	198	2.9%	210	3.0%	+ 5.7%	70	2.1%
経常利益	131	1.9%	210	3.0%	+ 60.0%	70	2.1%
当期純利益	44	0.6%	70	1.0%	+ 58.4%	30	0.9%
期中平均 円/USD	114.28		105.00			105.00	
為替レート 円/EUR	161.53		160.00			160.00	

・設備投資 : 450億円 ('08/3期比 +19億円)

・研究開発費: 470億円 ('08/3期比 +24億円)

20

■ 電子部品セグメントの状況

【2008年 5月 8日現在】

- 売上高 3,900億円 ※
- 営業利益(率) 90億円 (2.3%)

《前提となる予想為替レート》 105円/USD、160円/EUR

- ・設備投資 : 300億円 ('08/3期比 +37億円)
- ・研究開発費: 170億円 ('08/3期比 +20億円)

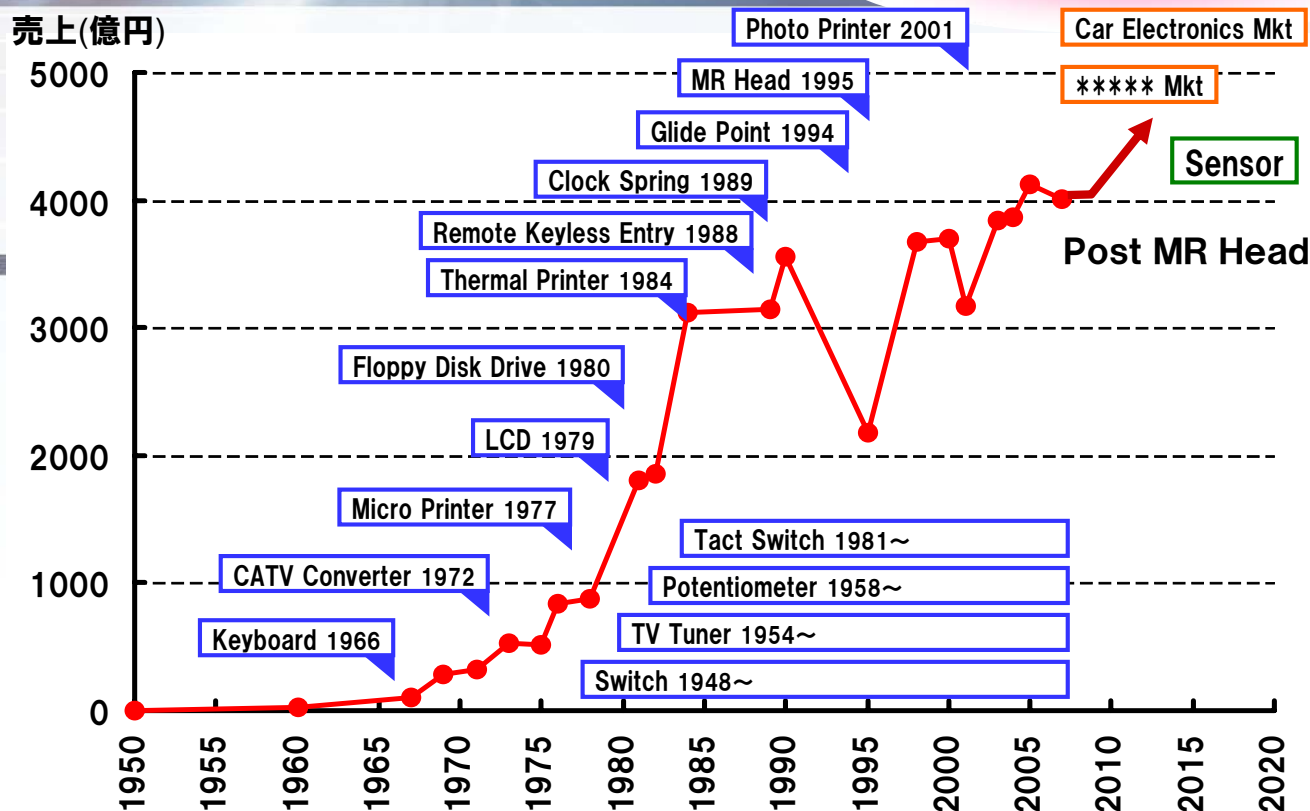
※セグメント間売上(80億円)を含む

21

重点施策**1. 売上拡大に向けた
新市場開拓／新製品開発の加速化****2. 事業構造改革の推進**

22

新市場開拓／新製品開発の加速化



ALPS

2009年3月期の見通し

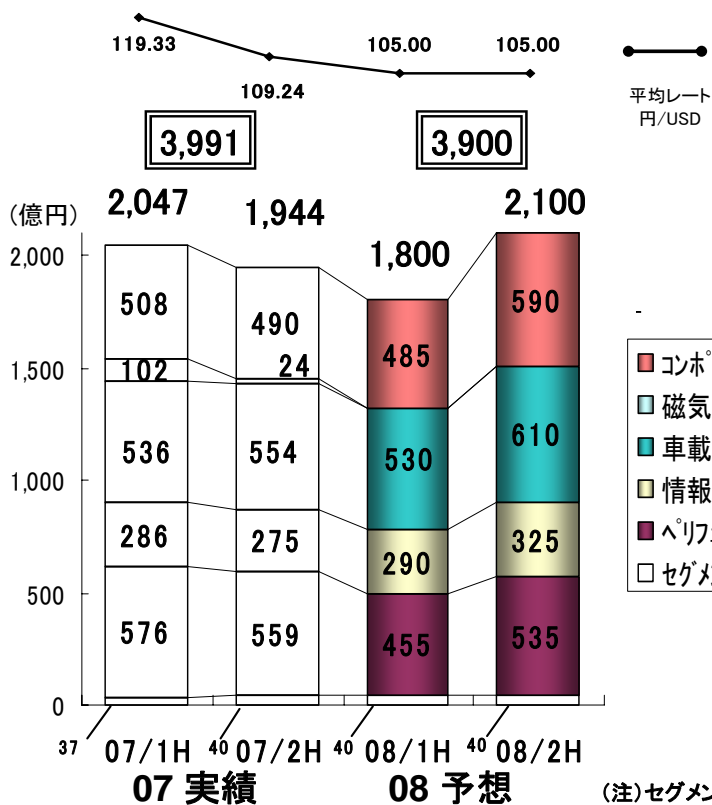
重点施策

2. 事業構造改革の推進

1. 伸ばす製品、伸びる市場への積極投資
ex.) センサ事業、車載電装市場
2. 強い基幹製品の徹底拡販と
製品構造変化の加速

2009年3月期の見通し

■ (電子部品セグメント) 売上高の内訳

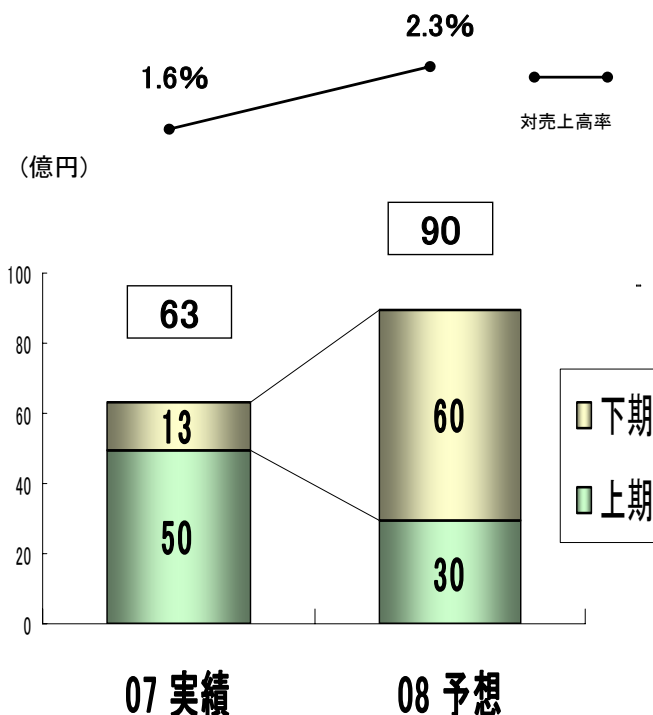
前期比 Δ 91億円

- ・コンポーネント事業
スイッチ、センサの増等
(磁気デバイス事業対応分を含む)
+ 76億円
- (磁気デバイス事業)
HDD用ヘッド事業の終息
 Δ 126億円
- ・車載電装事業
ステアリングモジュールの増等
+ 50億円
- ・情報通信事業
車載用Bluetooth™の増等
+ 54億円
- ・ペリフェラル事業
入力用デバイスモジュールの減等
 Δ 146億円

25

2009年3月期の見通し

■ (電子部品セグメント) 営業利益の見通し



前期比 +27億円

主な増減の要因

- ・USD安円高による減(@114→@105)
 Δ 46億円
- ・主にHDD用ヘッド終息などによる償却費負担の減 +54億円
- ・原価低減推進による合理化など +19億円

26

2009年3月期の見通し

■ コンポーネント事業

売上高(計画) 1,075億円(前期比 108%)

〈重点戦略〉

高シェア維持・獲得に向け、新商品の仕込み徹底による増収を継続

[開発戦略] DMの充実と要素技術の深耕で、新製品立上げ並びに新規事業化のスピードアップ

[生産戦略] 不良を出さない桁違い品質の維持・継続

携帯電話用
ライトガイド付コンタクトシート™携帯機器用
Micro-SD™用コネクタ車載用
防水タイプ検出スイッチ

27

2009年3月期の見通し

■ 磁気デバイス事業対応分について 今期関連売上高(内数) 160億円

HDD用ヘッドの終息に伴い、新たな柱としてセンサの立上げに注力していますが、当センサは内部向け売上高が主体となるため、今後は関連性の高いコンポーネント事業と合わせてセグメント情報を捉えていきます。

〈重点戦略〉

事業構造改革の加速

1. HDD用(MR)ヘッドで培った技術力をベースにプロセス技術を深耕
次期デバイスを創出する、開発・生産拠点の確立を目指す
2. 市場創出と拡販の推進
3. 材料応用製品の事業化推進
リカロイ™シートの拡販、圧電応用品(ホンプ)の立上げ

SENSORING™

高精度磁気センサ
スイッチング出力タイプ

地磁気センサ

高精度磁気センサ
アナログ出力タイプ圧力センサ
絶対圧検知用圧力センサ
絶対圧・ゲージ圧タイプ

28

2009年3月期の見通し

■ 車載電装事業

売上高(計画) 1,140億円(前期比 104%)

〈重点戦略〉

1. 更なる増収へ向けた、新製品・新技術の継続創出
2. 開発効率アップによる、更なる部品・製品完成度の向上
3. Global経営効率の向上(拠点の拡充と適地生産の強化)



ハプティックコマンド[®]
エアコン操作ユニット
操作スイッチユニット



ドア・シート用操作モジュール
パワーミラースイッチ



パッシブキーレスエントリーシステム
キーレスエントリーシステム

29

2009年3月期の見通し

■ 情報通信事業

売上高(計画) 615億円(前期比 110%)

〈重点戦略〉

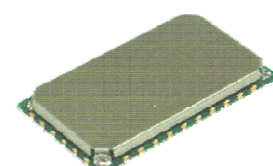
- チューナ事業の復活へ向けた仕込みの徹底
 - 顧客の使い勝手を重視したオリジナル製品の開発
 - ・ソフトウェア技術力を活かし、セットとの繋ぎを容易に
 - ・高密度実装技術力を活かし、更なる小型化へ
- 車載用Bluetooth[™]でグローバルNo.1サプライヤーへ



車載用フルセグチューナ
モジュール



地上デジタル放送用
TVチューナ



車載用
Bluetooth[™]モジュール

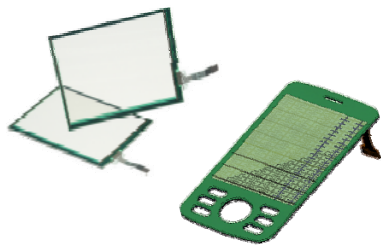
30

■ ペリフェラル事業

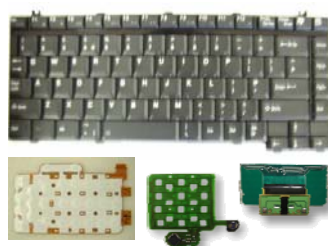
売上高(計画) 990億円(前期比 86%)

＜重点戦略＞

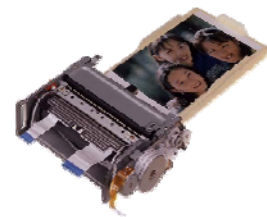
- コア技術の深耕によるペリフェラル製品の創出を推進
- タッチパネル, 入力デバイス, プリンタ・メカニズムなど新製品立上げの徹底



携帯機器用
タッチパネル



PC・携帯機器用
入力デバイス



小形プリンタ
メカニズム

31

目次

1. 2008年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品セグメントの状況

2. 2009年3月期の見通し

2-1. 連結業績の状況

2-2. 電子部品セグメントの状況

3. 今後の見通し(電子部品セグメント)

32

当スライドの予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。よって、見通し・予想を算定するため過去に認識された事実以外に、見通し・予想を行うための仮定等を使用しています。これらの記述については、将来その通りに実現するという保証はありません。また、本資料は会計士監査対象外となっています。

なお、当社のハプティック関連デバイスは、Immersion CorporationのTouchSense™Technologyを使用しており、TouchSense™はImmersion Corporationの登録商標です。

また、本資料中に表記している「Bluetooth™」は、米国Bluetooth SIG, Inc.の、「micro-SD™」は、「SDアソシエーション」の登録商標です。

美しい電子部品を究めます

ALPS®